

図書室だより〈3月〉

町民センター3階

今月のこの1冊

本バスめぐりん。

大崎梢 著

移動図書館を知っているだろうか。本棚を取り付けたマイクロバスで図書館から遠い地域を定期的に巡回し、図書の貸出・返却を行うサービスである。神奈川県内でも複数の自治体で採用されている。

本書は架空の街、種川市を走る移動図書館「めぐりん号」が主人公だ。巡回先の公民館や公園にはめぐりん号を楽しみに待つ利用者がいる。約三千冊の本を積んで、晴れの日も雨の日もめぐりん号は休むことなく市内を走る。



【開室時間】 火～金曜日 10:00～20:30
土・日曜日 10:00～17:00
20日(月)は祝日のためポストは使えません
【休室日】 毎週月曜日
※貸出冊数は4冊まで、期限は2週間です

新しく購入した図書(主なもの)

- 一般書 ●
 - ・がん消滅の罫 岩木一麻
 - ・太郎とさくら 小野寺史宜
 - ・屋根をかける人 門井慶喜
 - ・クラウドガール 金原ひとみ
 - ・さまよえる古道具屋の物語 柴田よしき
 - ・月のぼどう 寺地はるな
 - ・しんせかい 山下澄人
- 児童書 ●
 - ・ルルとララのアロハ!パンケーキ あんびるやすこ
 - ・だるまちゃんとおうちちゃん 加古里子
 - ・しんけんしょうぶだるまさんがころんだ 武田美穂
 - ・銀杏堂 橋春香
 - ・くろグミ団は名探偵 ユリアン・プレス

みんな集まれ!子どもの広場・おはなし会

◇子どもの広場

内容 「くるくるひこうき」を作ります

日時 3月18日(土) 10:00～

持ち物 はさみ・油性カラーペン

対象 5歳～(未就学児は保護者同伴)

場所 町民センター2階 小会議室A

申込み 直接図書室へ または、☎82-5221

◇おはなし会(第2土曜日、第3水曜日)

日時 3月11日(土) 13:00～

3月15日(水) 15:00～

場所 町民センター3階 図書室

申込み 申込みはいりません

毎月1日は、【開成ファミリー読書デー】

家族みんなで本を読もう!

●家庭・地域・学校などでの読書活動を推進するため、開成町では毎月1日を「開成ファミリー読書デー」にしています。

*文芸

俳句

開成俳句会
如月の庭木訪う番鳥
針供養豆腐一丁大事にす
如月や妣の背中に灸あと
如月や乾きし音の遠くより
春寒や晴着なびかせ小町行く
如月やモノリザ人を引き寄せて
飼ひ主の猫語犬語や暖かし
春寒や裏に聳へる大櫓
野に如に煙立ちおち春寒し
籬壇の三百体に見つめられ
如月や妙に明るき鬼瓦

二月吟

如月や干されて透ける魚の骨
如月とは陰暦二月の異称で寒さの為に衣を更に着る所から着更着とも言われる。今月の作品は浜辺の風景のワンカットが見える。網の中に干されている魚を見ると正にこの通りである。平凡な景だが(如月)によって乾いた風や日差し効果で(透ける)と感じ取った秀句です。作者は最近県央より移住され、俳句教室を知り積極的に参加し、俳句の喜びを実感しているとのことです。

新井たか志 選評

波多野すみ枝 波多野すみ枝
濱本 主雄 濱本 主雄
有賀 孝子 有賀 孝子
奥津ちわき 奥津ちわき
下澤 操子 下澤 操子
瀬戸 悦子 瀬戸 悦子
遠藤シズ子 遠藤シズ子
遠藤マツエ 遠藤マツエ
遠藤まつ子 遠藤まつ子
遠藤美津子 遠藤美津子
選者吟 選者吟

ともしび短歌会

高き枝に止まれる鳥と目の合ひて
「住きことある」と思ふ ひそかに 諸星キクエ
高き枝に止まっている珍鳥と目が合った。その瞬間、「何か慶事があるのでは」と期待感を抱いたという。四年を迎える間際のユニークな体験を詠んでおり、「ひそかに」の配置も意味深である。

近藤 正臣 選

短歌

北風に散り敷くモミぢ葉庭いっぱい
腰をかがる老婆の一日 杉本シズ子
モミジ葉が、北風によって何回も、庭の隅々まで敷き詰められる。その都度、作者は、掃き集めるために腰をかがめ作業を行うという。体言止めに掛詞を利かせ、その労苦を淡々と詠んでいる。

一月詠

突然の初雪降りつむ夕餉時
家族の帰り暖とり待つ 府川ハツエ
夕飯時、初雪が急に降り、積もり出したのを見て、作者は、交通機関や他のことを心配しつつ部屋を暖め、家族の帰りを待った。降雪時、作者の家族のことを思いやる様が素直に詠まれている。

開成町のいまむかし<12>

この町に住んで100年目の方も、100日目の方も、皆さんで確かめる開成町の「いま」と「むかし」。最終回は「開成町いまむかしパズル」でお楽しみください。(各マスにかな1字が入ります。)

☎ 教育総務課 ☎82-5221

①		②		③	④	⑤
				⑥		
		⑦		⑧		
⑨				⑩		⑪
		⑫		⑬	⑭	
⑮				⑯		
		⑰				

- ### ヨコのかぎ
- ①直火でごはんを炊いた所
 - ③町の西側地域の旧村名
 - ⑥酒匂川にかかる町内で一番南の橋は足柄〇〇〇大橋
 - ⑦開成町はこの反対で人口増加
 - ⑨町の南端、要定川にかかる橋で元々は旧宮台村名主の世襲名
 - ⑫♪箱根の山は天下の〇〇♪
 - ⑬むかしの町内で、川の堰さらいや道づくりなど近所総出の共同作業、漢字で舫
 - ⑮春の七草の一つ、むかしは町内の小川のほとりに
 - ⑯国府津～松田断層の動きが心配
 - ⑰特にお正月、魚のすり身と卵で焼く甘い巻物料理

タテのかぎ

- ①夏の終わりに鳴くヒゲラシ
- ②ゼミはこの鳴き声の繰り返し
- ③町内の石碑に多い道案内の神
- ④町の花アジサイは〇〇木でも増やせる
- ⑤九十間と中土手のように、洪水に備え二重になっている堤防は〇〇堤
- ⑥宮台にあった酒田神社の前身神社、田んぼに居る神社
- ⑦むかし、開成町でもはやった子どもの遊び
- ⑧源頼朝は石橋山の旗揚げで平氏に敗れ真鶴からこの県の海岸に逃走
- ⑩最初に吉田島駐在所が置かれた地区
- ⑪開成町議会は定数12人
- ⑫金井島などに残る立派な宅地
- ⑬井上、遠藤に次いで開成町で3番目に多い名字

問題 赤いマスに入る字を組み合わせた開成町の「合言葉」は何でしょうか? 漢字とカタカナで答えてください。

◇答えは3月24日開催の歴史講座及び4月号広報でお伝えします。

作成・井上 東亜

江戸時代に、おじゃまします～瀬戸屋敷ひなまつり～

産業振興課 ☎84-0317

3月5日(日)まで瀬戸屋敷ひなまつりが開催されています。瀬戸家収蔵のひな人形をはじめ、町婦人会手作りの7,000個以上のつるし雛が来園者を出迎えてくれます。ぜひお出かけ下さい。